

## 里海かわら版

編集・発行 / 長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会事務局 ☎ 088-823-9407 mail kc-010900@city.kochi.lg.jp

## 第4回総会開催

「長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会」では、平成29年9月の設立以降、人口減少への対応、地域振興という観点から、課題解決に向け、協議・検討を行っています。

3月26日(火)に、御畳瀬ふれあいセンターにて、平成30年度第4回総会を開催しました。

第4回総会では、住民アンケート(1月実施)の結果及び地域おこし座談会(3月実施)の内容について報告を行いました。

その後、本協議会で意見をとりまとめた「高知市への提案書(素案)」について協議・検討を行いました。

今後、役員会で提案書に関する最終調整を行ったのち、5月8日(水)に開催する「手交式」にて、高知市長へ提出する予定です。



▲3月26日に開催された第4回総会の様子

## アンケート結果報告

～ご協力いただきありがとうございました～

お忙しい中アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果の概要について、以下のとおりご報告します。

今回のアンケートでいただいたご意見を踏まえ、高知市への提案書を取りまとめていく予定です。

なお、詳細結果につきましては、長浜・御畳瀬・浦戸地区のふれあいセンターに配置している冊子もしくは政策企画課ホームページをご覧ください。

	世帯	人
調査対象世帯数	5,419 世帯	9,310 人
有効回答件数	674 世帯	1,249 人
有効回答率	12.4 %	13.4 %

長浜・御畳瀬・浦戸地区が連携して行う活性化に向けた取組案の中から有効と思う取組について3つ選んでください。

## 【地区連携】

①	地域の交流の拠点となる施設づくり	53.5%
②	地域の特産品を活かした食づくり	50.9%
③	各地区で連携したイベントづくり	43.0%
④	地域を回り、魅力を知ってもらう	34.3%
⑤	地域に移住者を増やす	22.2%

長浜・御畳瀬・浦戸の各地区ごとの活性化に向けた取組案の中から有効と思う取組について3つ選んでください。

## 【長浜】

①	お祭りを盛り上げる	39.3%
②	直販所等の交流の拠点となる施設づくり	38.2%
③	地区の特産品を活かした食づくり	33.7%
④	高齢者の交流の場づくり	30.1%
⑤	子どもの遊び場づくり	25.4%
⑥	新たなイベントづくり	18.6%
⑦	地区を回り、魅力を知ってもらう	15.3%
⑧	移住者を増やす	13.7%
⑨	企業などへの支援	12.1%

## 【御畳瀬】

①	旧御畳瀬小学校の利活用	69.4%
②	みませ祭りを盛り上げる	45.8%
③	漁港の利活用	37.5%
④	地区の特産品を活かした食づくり	25.0%
⑤	歴史・文化の継承	19.4%
⑥	地区を訪れる人を増やす	18.1%
⑦	大学等教育機関との交流・連携	16.7%
⑧	新たなイベントづくり	5.6%
⑨	地区を回り、魅力を知ってもらう	1.4%

## 【浦戸】

①	交流の拠点となる施設づくり	42.6%
②	地区の特産品を活かした食づくり	40.0%
③	浦戸小学校を活かす	38.3%
④	地区を回り、魅力を知ってもらう	29.6%
⑤	移住者を増やす	24.3%
⑥	新たなイベントづくり	23.5%

# 地域おこし座談会



活性化協議会で検討を行ってきた地域の活性化策について、観光振興や産業振興等の分野でご活躍されている専門家の方々からご意見をいただく「地域おこし座談会」を3月17日に開催しました。

座談会当日、いただいたご意見について、以下のとおりご紹介します。

土佐山アカデミー事務局長 / 内閣府認定地域活性化伝道師 吉富氏

- ・地域の課題も資源の1つと捉えれば、資源=人・モノ・文化・課題
- ・地域の抱える課題をアイデアやユーモアで活性化につなげる手法について提案



- 御畳瀬地域は漁村特有の集落密集地域  
→玄関の間隔が短いという特性を活かし(自宅呼び鈴の)ピンポンダッシュ競争
- 浦戸地域はトンネルや細い路地が迷路のようにつながっている特性  
→スポーツチャンバラや市街地型サバイバルゲームの運営等

(株)StoryCrew 代表 浅野氏

～食コンテンツ作りに必要なこと～

- ・消費者の立場になって考える  
→自分ならここに来たいか
- ・場所よりも中身が大事  
→見栄えのよい建物を作るよりも中で何をすることが大切
- ・多くの人がちょっとだけ関わる  
→みんなが自分にできることを見つけて、ちょっとだけでも手伝う



高知県サイクリング協会理事 大崎氏

～自転車を活用したまちづくり～

- ・どのような人をターゲットにするかによって、必要となる機能が異なる。

ターゲットのニーズにあわせた施策展開が必要。

- ①地域をゆっくり回りたい人：観光ルートやレンタサイクルの整備
- ②ロードバイク等に乗る人：目的地となる集客施設の整備
- ③マウンテンバイク等に乗る人：オフロードのルートや発着地となる拠点整備

自転車を活用したまちづくり色々

1. 自転車を活用したまちづくりとは?
2. 観光面から見た自転車活用まちづくり



観光アドバイザー 近澤氏

～地域資源を活かした着地型観光～

- ・近年、体験して楽しむ「体験型観光」が増加し、中でも現地で集合し、解散する「着地型観光」のツアーが注目されている。
- ・観光客の受け入れ先がツアーの内容を作る「着地型観光」では、地元ならではの体験プログラムを提供することで、地域の隠れた魅力を発信することができる。



## ▼活性化協議会 今後の予定

	4月	5月	6月	7月	8月
提案書作成	提案書最終調整	市長へ提案書提出 ● 5/8			
推進体制	今後の推進体制についての協議・検討				

9月以降…

地域・行政・民間企業等が連携し  
活性化に向けた取組を推進

※今後の推進体制の検討を終えた8月頃を目途に本活性化協議会は解散する予定です。

活性化協議会についてのご意見・ご質問等をお聞かせください

事務局

高知市政策企画課(担当:木下・有光・出口)  
〒780-8571 高知市本町 5-1-45

▶電話 088-823-9407 ▶FAX 088-823-9382

▶電子メール kc-010900@city.kochi.lg.jp

▶ホームページ <http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/2/kasseika.html>

